



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月8日

上場会社名 旭松食品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2911 URL <http://www.asahimatsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 足立 恵 (TEL) 06-6306-4121
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	2,108	△6.1	25	—	29	—	23	—
28年3月期第1四半期	2,245	4.9	△17	—	△15	—	△23	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △0百万円(—%) 28年3月期第1四半期 △8百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	2.58	—
28年3月期第1四半期	△2.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	8,886	6,211	69.4
28年3月期	9,255	6,258	67.1

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 6,166百万円 28年3月期 6,210百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,600	1.0	100	—	100	—	70	—	7.65
通期	9,550	0.5	300	47.4	300	49.3	200	22.9	21.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期1Q	9,382,943株	28年3月期	9,382,943株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	232,705株	28年3月期	232,705株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期1Q	9,150,238株	28年3月期1Q	9,153,279株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策を背景に、雇用・所得環境の改善が続き緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、中国をはじめとするアジア新興国や資源国での景気減速や、英国の欧州連合(EU)離脱問題の影響など景気下振れリスクが高まっております。

食品業界におきましては、少子高齢化が進み量的な拡大が見込めない中、品質や安全に対する要求に応えるためのコストの増大や、輸入原材料等に多くを依存していることによる、為替変動リスクに晒されております。

このような状況のなか、当社グループは、利益向上を重点に販売活動を行い、また、売上原価の上昇を抑えるため、生産体制の改善を継続実施するなど、収益力の向上改善に努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は21億8百万円（前年同四半期比6.1%減）となりました。食料品事業セグメントの内訳としては、凍豆腐では、価格改定も一巡し適正な販売価格の維持に努めてまいりました。また、市場の拡大を図るため、業界団体を通じ凍豆腐の健康機能に関して研究を進め、凍豆腐がレジスタントタンパクを多く含む理由についての研究発表を行ったほか、既成概念にとらわれない、菓子・洋食など新しい調理方法の提案型販売促進を展開し、新規販売チャネルの開拓を続けてまいりました。その結果、売上高は9億8千8百万円（前年同四半期比0.0%減）となりました。加工食品においては、単品収益管理の徹底を図り不採算アイテムの改廃など収益改善に努めてまいりました結果、売上高は6億5千6百万円（前年同四半期比18.1%減）となりました。その他の食料品では医療用食材が継続して堅調に推移しており、売上高は4億5千6百万円（前年同四半期比1.6%増）となりました。

利益面では、価格改定や生産体制の見直し等による収益構造の改善効果が表れてきており、営業利益2千5百万円（前年同四半期は1千7百万円の損失）、経常利益2千9百万円（前年同四半期は1千5百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益2千3百万円（前年同四半期は2千3百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ3億6千8百万円減少し、88億8千6百万円（前連結会計年度末比4.0%減）となりました。総資産の減少の主な要因は、現金及び預金で5千9百万円、受取手形及び売掛金で2億7千7百万円、無形固定資産で2千7百万円減少したことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度に比べ3億2千2百万円減少し、26億7千5百万円（前連結会計年度末比10.8%減）となりました。負債の減少の主な要因は、支払手形及び買掛金で5千9百万円、未払金で3千4百万円、未払法人税等で3千1百万円、賞与引当金で5千4百万円、設備関係支払手形で3千7百万円、長期借入金で4千8百万円、退職給付に係る負債で2千3百万円減少したことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度に比べ4千6百万円減少し、62億1千1百万円（前連結会計年度末比0.7%減）となりました。

以上により自己資本比率は前連結会計年度に比べ2.3ポイント増加し、69.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表いたしました平成29年3月期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,298,569	2,239,530
受取手形及び売掛金	1,690,116	1,412,402
たな卸資産	954,657	964,943
繰延税金資産	3,219	3,048
その他	71,870	72,692
貸倒引当金	△4,580	△5,748
流動資産合計	5,013,854	4,686,868
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,484,904	5,483,465
減価償却累計額	△4,418,870	△4,434,969
建物及び構築物（純額）	1,066,033	1,048,496
機械装置及び運搬具	5,965,813	5,966,233
減価償却累計額	△5,284,646	△5,280,582
機械装置及び運搬具（純額）	681,167	685,650
土地	1,671,643	1,671,637
リース資産	158,697	158,697
減価償却累計額	△40,856	△47,227
リース資産（純額）	117,841	111,470
建設仮勘定	25,684	32,307
その他	434,657	433,011
減価償却累計額	△381,593	△382,170
その他（純額）	53,064	50,841
有形固定資産合計	3,615,434	3,600,403
無形固定資産	384,299	356,718
投資その他の資産		
投資有価証券	169,119	167,388
繰延税金資産	1,576	1,576
その他	76,045	78,727
貸倒引当金	△4,691	△4,691
投資その他の資産合計	242,049	243,000
固定資産合計	4,241,783	4,200,121
資産合計	9,255,638	8,886,989

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	642,115	582,141
短期借入金	225,871	225,012
リース債務	33,818	33,692
未払金	411,845	377,769
未払法人税等	40,510	8,907
賞与引当金	93,369	38,540
設備関係支払手形	115,075	77,933
その他	233,697	210,923
流動負債合計	1,796,303	1,554,920
固定負債		
長期借入金	459,539	410,786
リース債務	120,444	112,021
繰延税金負債	90,129	90,236
退職給付に係る負債	474,807	450,815
資産除去債務	48,137	48,298
その他	8,100	8,100
固定負債合計	1,201,159	1,120,257
負債合計	2,997,463	2,675,178
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	3,345,187	3,323,050
自己株式	△129,503	△129,503
株主資本合計	6,465,952	6,443,814
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,962	15,247
繰延ヘッジ損益	△228	△1,788
為替換算調整勘定	121,987	93,921
退職給付に係る調整累計額	△395,297	△384,850
その他の包括利益累計額合計	△255,575	△277,469
非支配株主持分	47,798	45,466
純資産合計	6,258,174	6,211,811
負債純資産合計	9,255,638	8,886,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
売上高	2,245,680	2,108,179
売上原価	1,687,120	1,504,058
売上総利益	558,559	604,120
販売費及び一般管理費	576,264	578,134
営業利益又は営業損失(△)	△17,704	25,985
営業外収益		
受取利息	206	586
受取配当金	657	813
雑収入	3,799	3,974
営業外収益合計	4,663	5,373
営業外費用		
支払利息	2,142	1,676
雑損失	125	90
営業外費用合計	2,268	1,766
経常利益又は経常損失(△)	△15,309	29,592
特別損失		
固定資産売却損	—	17
固定資産除却損	1,128	1,747
特別損失合計	1,128	1,765
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△16,438	27,827
法人税、住民税及び事業税	7,739	3,279
法人税等調整額	△355	148
法人税等合計	7,384	3,427
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,822	24,399
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支 配株主に帰属する四半期純損失(△)	△295	786
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△23,526	23,613

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,822	24,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,516	△2,714
繰延ヘッジ損益	△1,483	△1,559
為替換算調整勘定	967	△31,184
退職給付に係る調整額	11,075	10,447
その他の包括利益合計	15,075	△25,012
四半期包括利益	△8,746	△612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,547	1,719
非支配株主に係る四半期包括利益	△198	△2,331

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		その他	合計
	食料品事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	2,238,992	2,238,992	6,687	2,245,680
セグメント間の内部売上高 又は振替高	251	251	—	251
計	2,239,244	2,239,244	6,687	2,245,932
セグメント利益	314,641	314,641	4,909	319,550

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、素材事業及び健康食品事業を含んでおります。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	314,641
「その他」の区分の利益	4,909
全社費用(注)	△337,255
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△17,704

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		その他	合計
	食料品事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	2,101,239	2,101,239	6,940	2,108,179
セグメント間の内部売上高 又は振替高	240	240	—	240
計	2,101,479	2,101,479	6,940	2,108,419
セグメント利益	382,895	382,895	5,084	387,979

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、素材事業及び健康食品事業を含んでおります。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	382,895
「その他」の区分の利益	5,084
全社費用(注)	△361,993
四半期連結損益計算書の営業利益	25,985

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。